

広域通信・単位制高の第一学院高校
高萩校（高萩市赤浜、生駒富男理事長）
は21日、同市高萩の文化会館で創立20
周年記念式典を開いた。スライドショ

ー上映や感謝状の贈呈などを行い、在
校生や関係者ら約350人が創立までの
軌跡や20年の歴史を振り返り、さらな
る飛躍を誓った。

スライド上映や演舞披露



芸能コース演劇部が披露した記念演舞＝高萩市高萩

第一学院高萩校で式典

生徒ら創立20年回顧

同校は構造改革特区（教育特区）を活用し、株式会社が設立した全国初の通信制高校「ワイザス高」として、2005年4月に同市に開校。現在、高萩校には通学コースとスポーツコースの生徒が通うほか、主に式典で、設立の中心的役割を担った生駒理事長は、国との折衝や株式会社設立への懸念などがあったことに触れ「順風満帆ではな

く、東日本地域で通信教育を受ける生徒6千人以上が毎年、宿泊を伴うスクーリング（対面授業）のため同校に集まる。

「と回顧しながら（高萩校で）生徒はいろいろな気付きや学びを得て、成長していつている」と出席者らに感謝。その上で「高萩市とともに生徒たちを育み、理想の学校をつくる」という思いを語り継ぎ、今まで以上に良い教育に取り組んでいくと決意を語った。来賓の大部勝規市長は「多くの卒業生がさまざまな分野で活躍している。（スクーリングは）地域活性化の一翼を担っている」とあいさつした。

その後、スライドショーが上映され、校名変更や新学科の設立、サッカー部の全国大会出場など映像を通して同校が歩んできた20年の歴史を顧みた。このほか、スクーリングの講師を務め、農林業や伝統工芸などの体験学習を提供する同市のNPO法人「里山文化ネットワーク」などに感謝状が贈呈された。

最後に、芸能コース演劇部が記念演舞「狐雨の花嫁」を披露。ロミオとジュリエットの世界観を狐と狸の恋の物語に置き換えた内容で、部員約30人が躍動感あふれる殺陣や情感あふれる演技を見せ、節目を締めくくった。（高田尚輝）